

# 平成 25 年度 事業報告

(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)

## 第 I 主催事業の部

### 1 平成 26 年「勤労青少年の標語」コンテスト

- ① 主 催 厚生労働省、日本勤労青少年団体協議会
- ② 応募期間 平成 25 年 7 月 21 日～10 月 20 日(92 日間)
- ③ 応募総数 3,956 作品 (前年度は 3,837 作品)
- ④ 審 査 一次 日勤協理事ほか  
二次 厚労省キャリア形成支援室
- ⑤ 発 表 平成 26 年 2 月 3 日 厚労省、報道発表  
同日 厚労省・日勤協ホームページに掲載

### 平成 26 年「勤労青少年の標語」

知と汗を 絞るあなたに 道開く 高橋 済 茨城県 71 歳

#### <入選作品>

すすめようまず一步 今から ここから 自分から  
鈴木 慶吾 東京都 17 歳  
越えていけ 今日の自分と 明日の壁 高山 淳也 新潟県 35 歳  
挑戦 実践 反省 そのサイクルで日々成長  
斉藤 多加之 東京都 45 歳

#### <佳作>

若者よ 明るい未来は 君次第 小川 一樹 大阪府 27 歳  
夢つかむ 始まりは今 その一步 藤田 留実子 秋田県 34 歳  
諦めない! 続けることこそ 夢の近道 梅村 さやか 千葉県 34 歳  
この僕も 社会を支え 支えられ 堀井 弘 京都府 53 歳  
あきらめるな 真の力は 継続なり 荒井 千鶴 埼玉県 55 歳  
探そうよ 生きがい やりがい 働きがい 峯岸 昌芳 埼玉県 57 歳  
その一步 次の一步が 生む自信 北内 康文 徳島県 60 歳  
大丈夫 小さな一步も 未来に続く 山本 由美子 大阪府 62 歳  
その若さ 活かして人生 切り拓け 長戸 康孝 埼玉県 65 歳  
挫けない 明日を信じて 今日の一步 高橋 寿己 北海道 67 歳  
ひかる汗 社会支える その笑顔 坂口 美世子 東京都 70 歳

### 2、勤労青少年問題研究会

昨年 2 月に研究会を発足させ、高久保理事を中心に数回の顔合わせを経て、4 月初

めに、従来の「つどい」の応募作品の分析に基づき、勤労青少年のおかれた状況と意識の変化についてレポートを受けた。6月には、平澤日大教授のお力添えをいただき、労務理論学会の総会で日勤協からのアピール「－共同研究のいざない－」を配布させていただいた。学会終了後に参加の学者との懇談の機会もあり、その後の展開が期待されたが、他の事業の取組みに追われ財政難も加わって活動が停滞してしまった。

## 第Ⅱ 共催事業の部

### 1、「若者を考えるつどい2013」

- ① 主催 (公財) 勤労青少年躍進会・(社)日本勤労青少年団体協議会
- ② 開催日 平成24年9月21日(土)
- ③ 会場 中野サンプラザ
- ④ 後援 厚生労働省、NHK、新聞協会、日本商工会議所ほか
- ⑤ 内容 優秀作品表彰式  
グループディスカッション  
交流会
- ⑥ 応募数 883点 (昨年は815点)
- ⑦ 受賞作  
厚生労働大臣賞 濱田夏帆 鹿児島 21歳 米山 晴巳 岡山 50歳  
厚労省職業能力開発局長賞 阿部喬子 32歳  
生産性本部会長賞 森田 佐知子 愛知 37歳  
日勤協名誉会長賞 秋山瑞葉 香川 22歳 上野つつじ 静岡 27歳  
大塚達也 徳島 37歳 神田敏行 在天津 42歳  
勤労青少年躍進会理事長賞 伊藤友香 東京 20歳 森 美那 大阪 25歳  
瀬越睦彦 広島 79歳  
他に入選14名、佳作71名、努力賞99名、奨励賞4名

#### 特徴

長年続いてきた講演をやめグループディスカッションに絞ったが、概ね好評ではなかったか。この成功には、カウンセラー協会の全面的なご協力によるファシリテーターの存在が欠かせない。長時間にわたるディスカッションを牽引してくださり、全国からの参加者に満足を与えてくださったファシリテーターの皆さんに感謝申し上げます。

### 2、他の協賛事業

- 1 「産業カウンセリング第43回全国研究四国大会」の協賛 ((一社)日本産業カウンセラー協会)  
期 日 平成25年5月25日(土)～26日(日)
- 2 平成25年度「ダメ。絶対。」普及運動の後援 (厚生労働省)

- 期 間 平成 25 年 6 月 20 日～7 月 19 日
- 3 「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金運動の協賛（麻薬・覚せい剤乱用防止センター）
- 期 間 平成 25 年 6 月 20 日～7 月 19 日
- 4 第 63 回 “社会を明るくする運動” の推進（法務省）
- 期 間 平成 25 年 7 月 1 日～31 日
- 5 平成 25 年「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」の協力（内閣府）
- 期 間 平成 25 年 7 月 1 日～31 日
- 6 「平成 25 年全国暴力追放運動中央大会」の協賛（警察庁）
- 期 日 平成 25 年 11 月 26 日
- 7 「平成 25 年全国地域安全運動中央大会」の協賛（警察庁、全国防犯協会連合会）
- 期 日 平成 25 年 9 月 24 日

### 第Ⅲ 法人組織について

#### 1、一般社団法人へ

25 年 7 月 9 日、内閣府に一般社団法人への移行認可を申請

11 月末日の期限が迫り、厚労省と内閣府から手続き等を急ぐようにと急かされたが、「つどい」と「標語募集」の時期と重なりその取り組みを優先、そのため内閣府の審査開始は 11 月 26 日とぎりぎりとなった。内閣府担当者から財政状況の改善を示唆されたため(公財)勤労青少年躍進会にお願いし納入会費を増額していただいた。その結果 12 月中旬に認可 OK の答申が出され 26 年 3 月 19 日認可の運びとなった。

担当者的話によると、認定委員会の中では日勤協の活動に高い評価がなされ、財政を早く強固にして公益法人に移行するように伝えて欲しいとのことであった。

#### 2、加盟団体の異動

賛助会員の（一社）ワーキングホリデーセンターが 25 年夏解散の運びとなった。同センター相談役の栗野日勤協理事が個人の賛助会員とられた。